

# いしのまき水辺の緑のpromenade計画(案)の概要

## (1) 計画策定の背景・目的

◆ promenade計画は、水辺と親しみながら人々が集い、交流し、まちが賑わいを取り戻すことを目的として、まちの中心部を囲むルートと拠点を配置、河川堤防を活かした整備等で、まちづくりを行う計画である。

- 悠々とした流れを感じる旧北上川
- 近代日本開拓の息吹を感じる北北上運河(貞山運河)
- 潮風を感じ往来する船舶を眺められる雲雀野海岸
- 水運で栄えた石巻の顔、各所に点在する観光資源

しかし、これらが一体的なつながりを持たず資源が活用されていない

## (2) 計画の目的と期待する効果

- ① 市民や観光客が気軽に水辺を楽しみながら歴史文化等を知る。
- ② 将来を担う子供たちに旧北上川との関わりを学び知ってもらう。
- ③ 人々の憩いと健康の増進。
- ④ 中心市街地に賑わいを取り戻し、観光振興などを期待。

※H23年2月計画策定直後、東日本大震災が発生。

下図は復興計画に基づく土地利用等を踏まえた、一部見直し後の計画案。

(平成24年10月3日 いしのまき水辺の緑のpromenade計画懇談会)

### ●いしのまき水辺の緑のpromenade計画案 全体図 (H24.10.3懇談会)



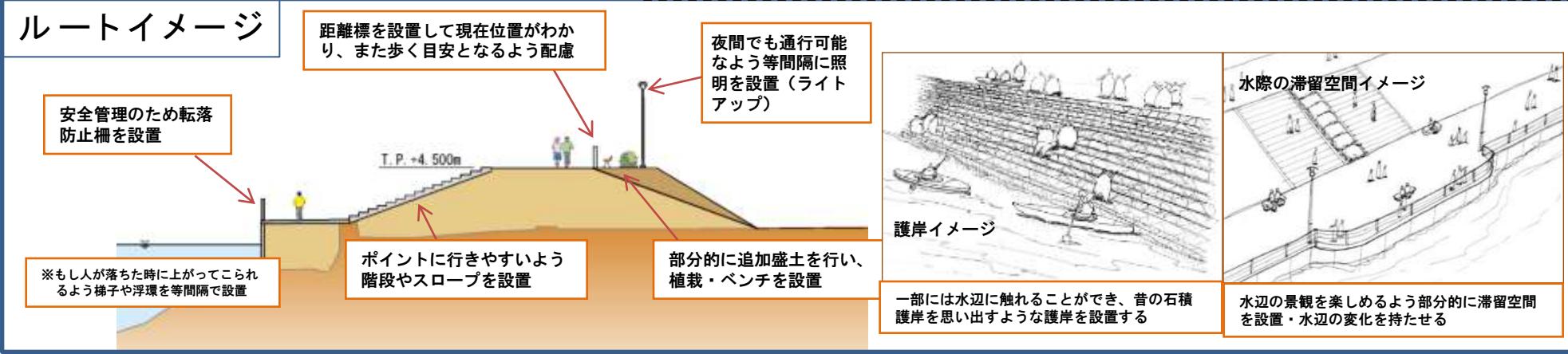
※ 拠点AとEは、計画見直しの中で、拠点Bに機能を集約し、欠番となっている。

# いしのまき水辺の緑のプロムナード計画(案)抜粋

## — 河川堤防を活かしたまちづくりの整備イメージ —

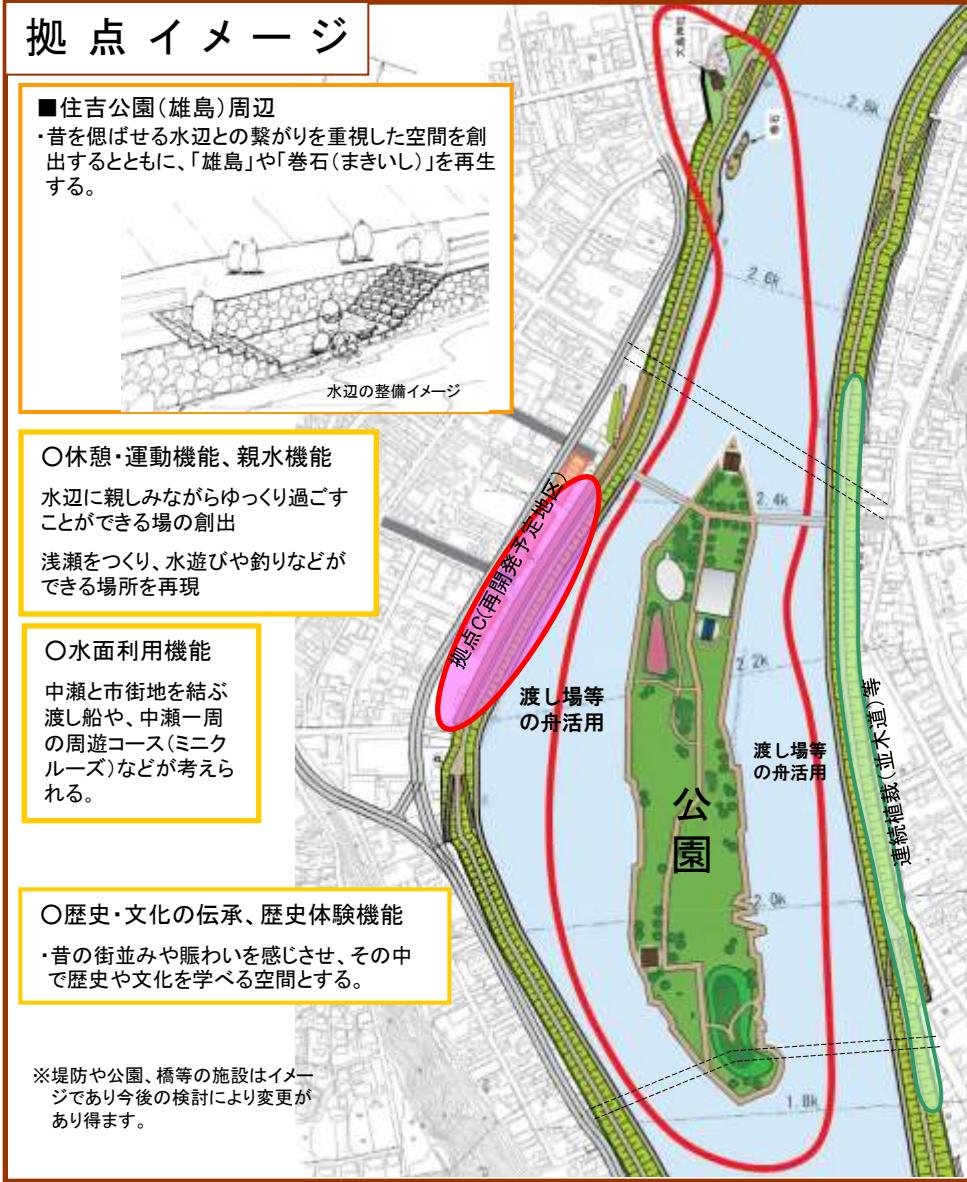
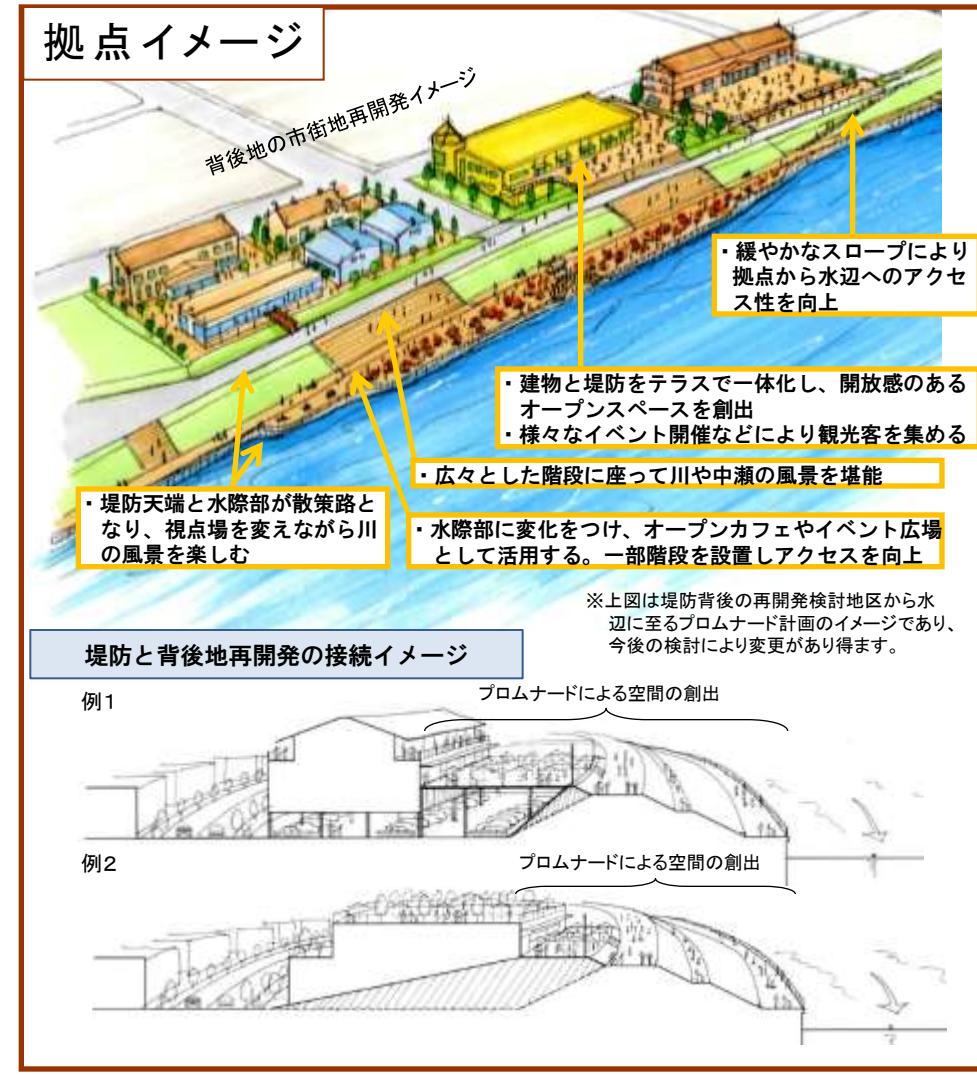
ルート  
**2** いにしへの石巻湊と賑わいを訪ねる  
**「旧北上川と石巻湊ルート」**

※以下の内容はプロムナード計画懇談会の計画案(H24.10)の整備イメージ抜粋であり、関連事業については、今後の検討により変更があり得ます。

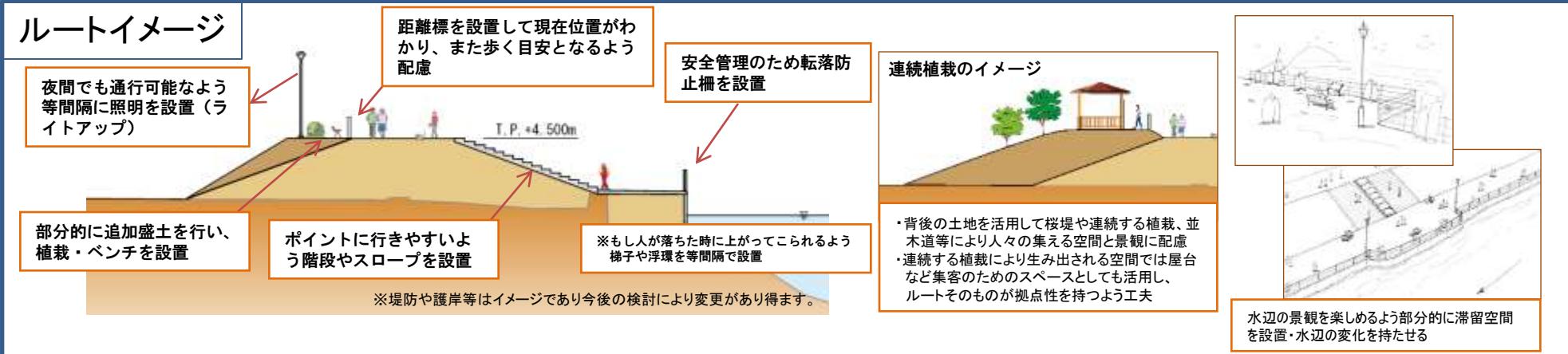


拠点  
**C** 雄大な旧北上川を眺めながら石巻の食を堪能する  
**「食彩・感動いしのまき」**

拠点  
**D** 川と共に暮らして「かわみなと・石巻」の歴史と文化の伝承  
**「『石巻の歴史』と『水と共に生きた文化』を伝えるシンボル空間」**



ルート  
**3** 新たに産業と居住集積を考慮した拠点的ルート  
**「居住と産業が隣接した憩いのルート」**



5-3 プロムナード拠点 祈念公園と水上交通拠点

拠点  
B  
拠点テーマ

「鎮魂」「祈り」「震災アーカイブ」「復興支援に対する感謝」及び「離島航路との結節点」「マリナー機能」「客船寄港との連携」等  
「鎮魂と祈りと絆の杜／水上交通拠点」

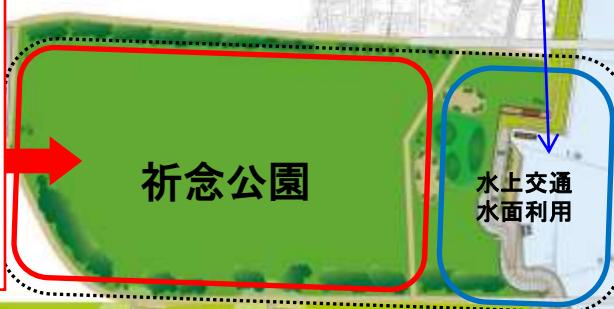
拠点イメージ

■祈念公園

- 震災の記憶を伝承する、鎮魂・祈りの場となる。
- 鎮魂と慰霊のモニュメントや催事の広場、伝承の施設等が考えられる。
- 地域の絆を深める場所として機能するように、イベント広場や、子供も楽しめる施設も必要。
- 潮風に強い樹種の植樹帯などの工夫をする。

■水上交通、水面利用

- 離島航路発着所の復旧と合わせて水辺の拠点整備で機能拡大も可能
- プレジャーボート等を収容するマリナー機能を確保する。
- 停泊する船舶や日和大橋や河口などを眺めるビューポイントとしても楽しめる場所とする。



離島への定期航路の発着所

※拠点Bは、旧計画の拠点A、B、Eを集約

※堤防等はイメージであり今後の検討により変更があり得ます。



広場とモニュメントのイメージ  
(北海道奥尻町 徳洋記念緑地公園)



レクリエーション広場でのイベント等



マリナーイメージ

5-2 雲雀野海岸・日和大橋 プロムナードルート

ルート  
1  
ルートテーマ

海に思いを馳せる  
「太平洋を眺める潮風のルート」

ルートイメージ

- 海岸防潮堤防に沿って、海を眺める視点場を設ける。
- プロムナードとしてのルートは公園敷地内とも連携させ、海辺を眺める視点場は祈念公園とも分担して多様な眺望を創出する。
- 安全を確保しつつ、ルート①と祈念公園の往来もできる設定を考慮

石巻港の客船寄港と連携したルート

公園内にも海を眺める視点場(盛土等)を設置し、ルート①と合わせて多様な眺望を確保



スポット的に盛土を行い、海を眺望出来る視点場の確保

視点場設置のイメージ

※堤防等はイメージであり今後の検討により変更があり得ます。

ベンチまたは東屋を整備

視点場

バリアフリーのスロープ

移動動線

安全確保

7-4 大橋地区 プロムナード拠点

拠点  
F  
拠点テーマ

水辺のレジャーも楽しめる防災拠点  
「旧北上川水辺広場」

拠点イメージ

- 現在、仮設住宅として利用されていることから、今後のまちづくりとの整合を図りながら検討していく。
- 市街地を流れる旧北上川沿いには、多くの人が集い、水辺と親しめるポイントが少ないため、多目的グランド(芝生広場)として子供たちが遊び回れるような空間とする。
- 周囲よりも地盤が高くなることから、洪水等の緊急時においては、水害対応の指揮や地域住民の避難場所等として活用可能。また、当該地区は築山や建物等を設置することで、津波来襲時の一次避難所としての活用も可能。
- 石巻大橋から石井閘門までの散策路(堤防上)では木陰が無いので、拠点に植樹して木陰を形成(樹木は水害時に水防対策として活用できる樹木を選定=水防資材)
- 人が集まるための駐車場も併設。

河川防災拠点整備イメージ



大規模災害発生時と平常時における防災拠点の機能

平常時には

- スポーツ、レクリエーションの場
- 河川等に関する情報発信の場
- 地域の方々のコミュニティ施設
- 地域の野外活動の場
- 各種イベントの開催



洪水等の緊急時には

- 水防情報の受発信基地
- 土砂、ブロック等備蓄した資材による緊急復旧の拠点
- 地域住民の緊急避難場所
- 水防司令室
- 水防回待機所
- ヘリポートによる緊急輸送



7-2 旧北上川右岸上流(水明~大橋~運河交流館) プロムナードルート

ルート  
4  
ルートテーマ

旧北上川の風と風景を楽しむ  
「川の風を楽しむルート」

ルートの方向性

- 川の風と風景を楽しみながら、散策、サイクリング等ができるルート
- 堤防上には散策路(サイクリングロード)が整備済みであり、移動途中に休憩し、水辺の景色を眺められるよう配慮
- 旧北上川の右岸河畔でも川とふれあえる河川敷があり、河川敷を使ったイベントなどの利活用が期待できる。

- 河川敷の利活用が推進されるよう、水辺をゆっくり眺められるベンチの増設やPRを推進。また川の生物・植物を調べる子どもを対象とした学習会の開催も検討。

サイクリングでの水辺散策



堤防上は安全な通学路



ウォーキングや散歩を楽しむ人も多い



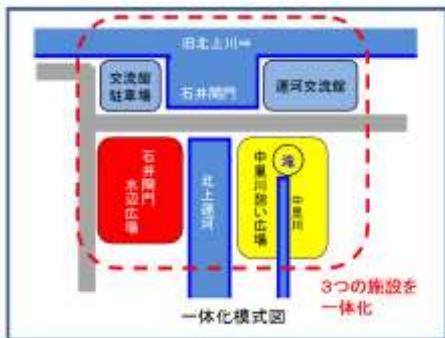
- 旧北上川河畔のルートでも、河川敷がある当ルートの特性を活かし、河川敷での更なる利活用が推進されるよう、公園的な整備を検討。

- 開北橋等を利用した対岸のルートとの広域的なネットワークを可能とするため、サイクリングロードや、イベント時の対岸への渡し等の活用について検討。

拠点  
G  
拠点テーマ

川を学びと水とふれあう  
「水辺の交流広場」

拠点イメージ



●3つの施設をつなぐ横断歩道や案内看板、サイン等の整備を行うことで、3施設が一体的となるよう工夫。また施設の利用促進を図るための駐車場(一次利用)やテーブル・椅子を整備。



拠点  
H  
拠点テーマ

運河と緑の憩いの空間  
「水と緑と子供たちの広場」

拠点の方向性

- 拠点方向性
- 運河と松や桜等の緑に囲まれながら、人々が憩う空間
  - 既に公園が整備されており、散歩や部活動でのランニング、サイクリングなどでの利活用が進んでいる(新たな整備は行わない)。
  - プロムナードとしてもっと使い勝手を良くする工夫を今後検討



散策路の沿道には桜が植樹され、公園のベンチで休みながら桜が眺められる



ランニングしている学生たち



公園にある運河整備事業の看板

ルート  
5  
ルートテーマ

運河の水辺と緑を楽しむ  
「運河ルート」

ルートの方向性

ルート方向性

- 運河の水辺と緑を楽しみながら、ポート等の水面利用や散歩、サイクリングができるルート
- 既に散策路が整備済みであり、これを活用することを基本とする。
- 運河沿いに並ぶ松並木が良い景観であるが、津波により松が枯れていることから、地域と一体となって従前の景観の再生を検討し、ライトアップ等の取り組みを推進する。



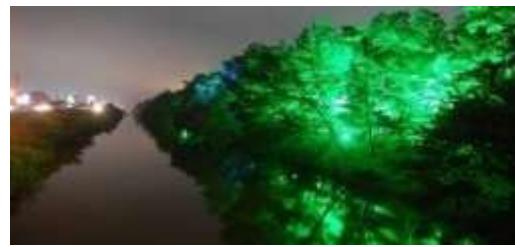
震災後も学生が運河を利用してカヌーの練習を行っている。



震災後、運河沿いの松の多くが枯れている



運河沿いに散策路が整備され、運河を眺めながらの散歩や、サイクリング、運動などで利活用が図られている



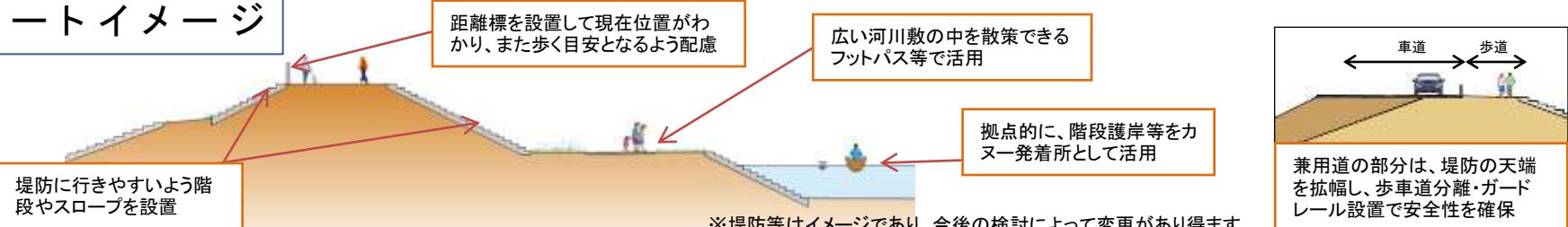
市民団体による北上運河の松並木へのライトアップ(石巻日日新聞提供)

ルート  
6  
ルートテーマ

開放的な空間の中でスポーツと学びを誘うプロムナード  
「スポーツと学びのルート」

- ルート方向性
- 対岸の町並みや、背後の田園風景を楽しみながら散歩できるルート(心地よい風を感じながらウォーキングやジョギング、散歩、サイクリングを楽しむ)
  - 石巻専修大学や総合運動公園との連携によるネットワークの拡大と利活用の推進
  - サイクリングやジョギング等の運動の利用を考慮した工夫(距離標や案内板)
  - 一部、水辺利用や水面利用を考慮した工夫(釣りやポート等)

ルートイメージ



※堤防等はイメージであり、今後の検討によって変更があり得ます。